



ゆう&あい

6月号
平成28年
5月24日発行

優・愛 友愛 You and I 優Eye 優・愛 友愛 You and I 優Eye 優・愛 友愛 You and I 優Eye 優・愛

播磨町ボランティアセンター・播磨町善意銀行
発行所：社会福祉法人 播磨町社会福祉協議会 TEL079(435)1712

のびのびはりま (障がい児生活訓練事業) スタッフ募集!

障がいのある小学生を夏休み期間の日中に預かり、子どもたちの交流などを目的とし、レクリエーションなどを一緒に行うスタッフを募集します。子どもと関わるのが好きな方、お申込みお待ちしております!!

期間 7月27日(水)から8月26日(金)までのうち月水金(8月12日をのぞく)
全13回 各日9時~16時

【対象】 学生や看護師・保育士・ヘルパー等の経験のある方
その他、当事業に関心のある方 など

【募集人員】 15名程度 ※応募者が多数の場合は、書類選考をさせていただきます。

【日給】 5,600円~

【実施場所】 町内施設

【締め切り】 6月20日(月)

【お問い合わせ・お申込み】

指定の申込書に必要事項をご記入の上、下記までご持参いただくか郵送して下さい。
※申込用紙は、社会福祉協議会の窓口かホームページからもダウンロードできます。



播磨町社会福祉協議会

播磨町南大中1-8-41 福祉しあわせセンター内

TEL.079-435-1712 FAX.079-436-5610

Mail: info@harima-wel.or.jp

【播磨町地域自立支援協議会】

「はたらく現場見学会」 参加者募集

「はたらく」ことに興味を持つ障がいのある人もしくはその家族・支援者を対象に、就労継続支援B型事業所の見学会を行います。

▶見学先…ワークプロジェクトにし(加古郡稲美町)

▶見学日…6月28日(火)

▶集合場所…播磨町役場前

▶集合時間…9時30分

※バスで移動します

▶参加定員…25名(先着順)

▶参加費…無料

▶問合せ・申込み

播磨町地域自立支援協議会 事務局
☎079(437)3456

播磨町福祉会館 パート職員

1. 募集人員 1名
 2. 業務内容 ①貸館 受付業務 ②浴場および付随設備の管理業務 ③会館自主事業の運営業務 ④駐輪場の管理業務 ⑤上記のほか会館の管理運営業務等
 3. 応募条件 会館管理業務に従事し、住民の福祉の向上に寄与していただける方
ワード・エクセル等のパソコン操作のできる方
 4. 雇用期間 平成28年6月~平成29年3月31日
※勤務成績等により更新あり
 5. 勤務形態 月曜日~土曜日のうち、週3日程度
・早出 8時15分~16時00分
・遅出 14時00分~21時30分
休日：日祝日
年末年始(12月29日~1月3日)
 6. 時給 800円 その他雇用条件は当社の規程に基づく
 7. 応募方法 履歴書(写真付)を下記まで提出。
※5月31日(火)17時までに、持参もしくは郵送
※書類選考あり
- 問合せ・申込み
播磨町社会福祉協議会(採用担当)
〒675-0147 加古郡播磨町南大中1-8-41
播磨町福祉しあわせセンター内
☎079-435-1712

あえ 調理ボランティア募集(阿閑の会)

一人暮らしの高齢者の方や高齢者世帯等に週一度、お弁当を作るお手伝いをして下さる調理ボランティアを募集しています。

日時 毎週木曜日 午後1時~午後4時頃まで ※月1回~2回程度(8月は休み)

場所 中央公民館・野添コミセンの調理室

問い合わせ・申し込み 播磨町ボランティアセンター ☎(079)435-1712



伝言板

このページに関する問合せは
播磨町社会福祉協議会
TEL.079-435-1712

心配ごと相談

秘密厳守

日時 毎週火曜日 13時~16時
場所 福祉しあわせセンター

◎法律相談をご希望の方は、事前に心配ごと相談をお受けください。

法律相談

弁護士により
月1回、実施します。

成年後見制度のご相談も
お受けします。

おもちゃルーム “きらきら”

い~っぱいのおもちゃで遊ぼう
6月の開設日

日時 6月2日(木)・18日(土)
10時~12時

場所 播磨町福祉会館

知的障害者(児)相談

日時 第2火曜日
13時~14時30分

場所 石ヶ池パークセンター

子育て相談

日時 6月27日(月)
13時30分~16時

場所 福祉しあわせセンター

主任児童委員が
ご相談をお受けします。

福祉相談

日時 6月1日・15日(水)
13時30分~16時

場所 福祉しあわせセンター

民生委員・児童委員が
ご相談をお受けします。

困りごと相談

秘密厳守

日時 6月1日(水)・9日(木)
・23日(木) 13時~15時

場所 福祉しあわせセンター

播磨町人権擁護委員が
ご相談をお受けします。

認知症家族の会

日時 6月11日(土)
13時30分~15時30分

場所 福祉しあわせセンター
内容 懇談会

小さなまちに広がれマップ ~ささえあいマップづくり~

「ささえあいマップづくり」取り組みレポート in 鹿の川地区

4月23日、鹿の川地区の住民の皆さんが「ささえあいマップづくり」(*)を行いました。
 今回、民生委員さんの呼びかけで集合されたメンバーは、自治会長を初め、自治会役員、民生児童委員、民生協力委員、主任児童委員やシニアクラブ会長、その他、近隣地区の関心のある方など計15名。さっそく、全体で3グループに分かれると、「ずっと住んでるけど、この地域のこと全然知らんわ」との声もあがりましたが、皆さんいろいろな視点で発言され、少しずつ実情が浮かび上がってきました。当会職員は各グループで進行の補助をさせていただきました。



参加された方からは、「疑問点が浮かび上がってきますね」、「介護に疲れているような、少し心配な方がいるんです」、「これからの地域の支え合いを考える時、情報が必要になってくる」といった話など、活発な意見交換がなされました。

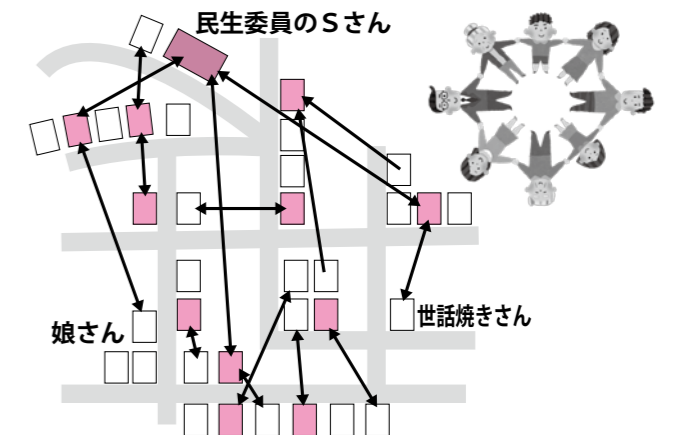
鹿の川地区では、再度実施に向けて検討されるそうです。今後も応援させていただきます！

※マップを作ることが目的ではなく、地域の「お付き合い」を見える化していくことで、今住んでいる地域の状況を振り返ったり、「何か気になる課題はあるかな?」と話し合う方法の一つです。当会はこの取り組みを推進しています。

ささえあいマップとは…

- 誰がつくるの?
ご近所同士の住民が数名集まって行います。
- 何をやるの?
支援を必要としている人(ひとり暮らしの方、介護が必要な方など)や気になる方(もしかしたら支援を必要としている方)について、その方の困りごとや思いなどを拡大した住宅地図に書きこんでいきます。さらに、参加者が知っている、その方と関わっている人との「関わり合いの線」も引いていきます。ここでの「関わり」とは、家を訪ねている、連れ合っているいきいきサロンに参加している、日頃からの支え合いがある、などを指しています。
- 目的は?
これを通じ、困りごとや、地域に共通する課題を見つけ、その解決方法をみんなで考え、日常的な支援や活動につなげていくことを目指して行います。地域での支え合い・助け合いの仕組みづくりを行うための一つの方法であると考えています。

「福祉」といえば、「サービス」が思い起こされます。介護保険サービスや障害福祉サービス、子育て世帯に対するサービス等々。国・県・町といった「公」が充実を図り、施策展開していますが、どこまで「公助」を推し進めても十二分ということはありません。そこで求められてくるのが、住民同士の支えあいである「共助」です。
 そこで、社会福祉協議会では、「支えあいが必要なのはわかるが、どうすればいいの?」といった住民の皆様の声をもとに、皆さんと共に考え、実践していくために、「ささえあいマップ」を展開しています。



☆お問合せ☆ 播磨町社会福祉協議会
 ☎079-435-1712

ほのぼのの便り

播磨町地域包括支援センター

平成7年 阪神・淡路大震災
 平成23年 東日本大震災
 今度は九州で…
 日本はこれからどうなるのでしょうか?
 災害の際には、自分自身を守る「自助」、地域で協力する「共助」、行政機関が主体の「公助」の三つが大切と言われていますが、地域で支えあう「互助」も大切!
 阪神・淡路大震災の時、建物の下敷きになった人を助けたのは、近隣住民によるのが77%、防災関係機関の救出は19%。向こう三軒両隣が助け合う「近助」の精神こそが重要です。
 昔「隣組の歌」というのがありました。
 トントントンカリンと隣組
 地震・雷・火事・泥棒、
 たがいに役立つ用心棒
 助けられたり助けたりト(3番)
 自発的な近隣同士、連帯の絆づくりの防災隣組がこれからは必要な時代です。高齢者の所在不明、未熟な親の幼児虐待、孤独死など、様々な問題解決には、「地域の絆」「隣人の絆」の復活が大事です。今ほど近隣住民同士の隣保共助、見守り、助け合いの「近所の精神」が重要な時代はありません。
 また、防災用品は実際に生命の危機に至るリスクを軽減するものをまず用意しましょう。救済物資もとてもありがたいものです。でも被災地への応援は「物」だけではない。「心の絆」は距離を超えます。真心の連絡は人に勇気と希望を与えるものだと思えます。
 心身共に健康でいるためにも、近隣との挨拶、また100歳体操やサロンや地域での催しに参加して、人とふれあい、楽しい時間を過ごしてみるのはいかがでしょう?お互い困った時に助け合ったり助けたりが出来る親しい友人も増えるかもしれませんよ!
 (山)

第1回福祉フェア

4月29日(祝)、大中遺跡での「播磨町健康福祉フェア」が、今年度から「はりま風薫るフェスタ」となったのに合わせ、当会も福祉大会から「福祉フェア」に改め、ボランティア連絡会・播磨町民生委員児童委員協議会の皆さんとともに開催しました。当日は、快晴で、2,000人以上の方に体験をいただきました。ありがとうございました。

写真で見る



ガイドヘルプ体験



手話体験



手話体験



車いす体験



要約筆記体験



点訳体験



昔のあそびコーナー

寄付者ご芳名

あたたかい善意ありがとうございました。
 (平成28年4月15日~5月10日)

(所得税法第78条第2項第3号該当
 法人税法第37条第2項及び第3項第3号該当)

●今月の払出状況

子どものいない老人誕生祝い	21,000円
要 援 護 世 帯 米 代 (2 件)	5,788円